

きんちゃくぶくろ の つくりかた



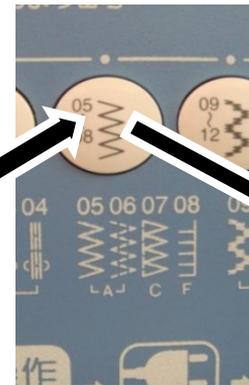
1 布がほつれないようにする

- ・ミシンを使って布の端がほつれないように処理をする。かがりミシンをします。

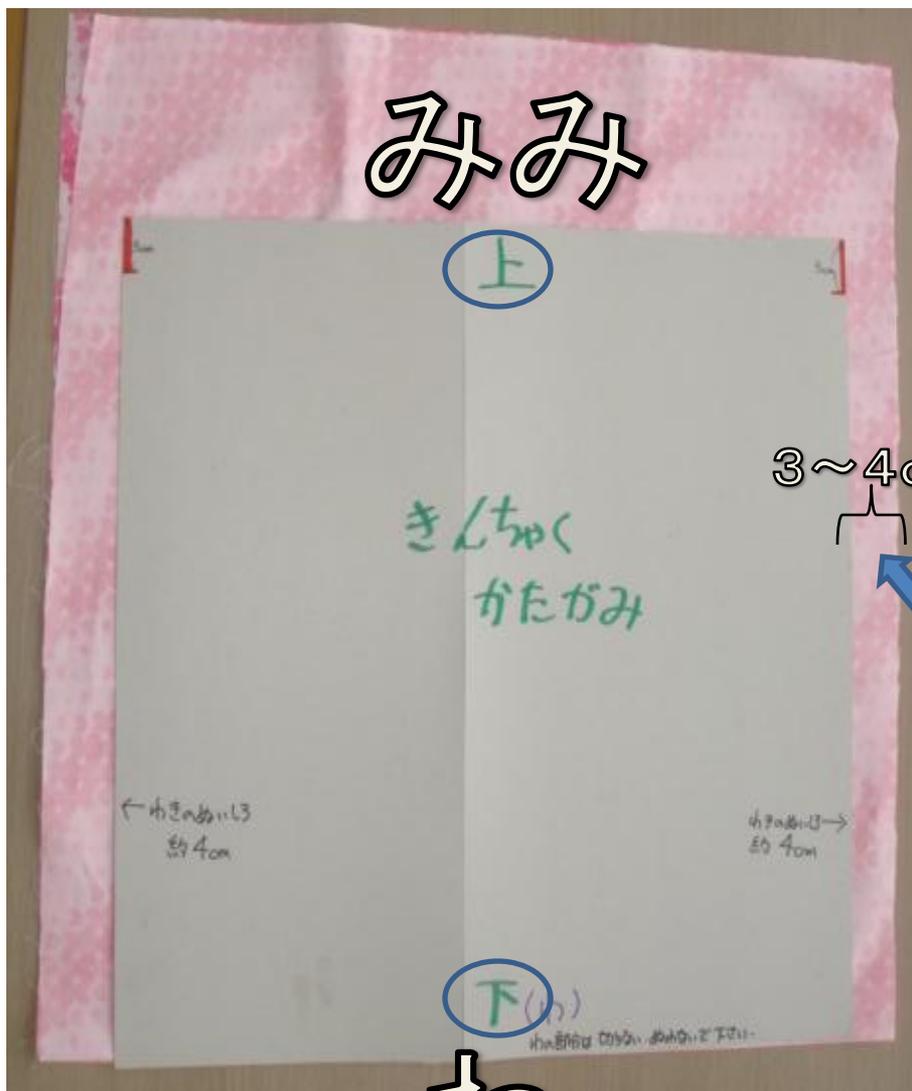


縫い目がこんな風になるステッチをミシンの縫い目番号から選んで縫って下さい。

学校のミシンだと⑤番以降の縫い目になります。①は直線縫い。



2 布の上に型紙を置き印をつける



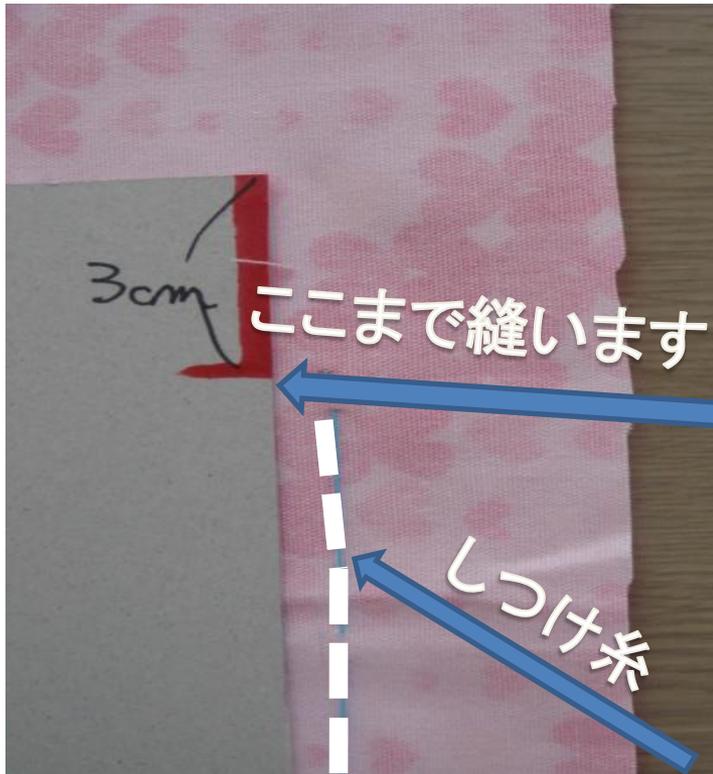
・布の「みみ」が上、「わ」が下になる様に布を置く。

・型紙の下の部分が「わ」に重なる様に置く。

・わきの縫い代として3~4cm分をあける。

わ

3 両わきをミシンで縫う

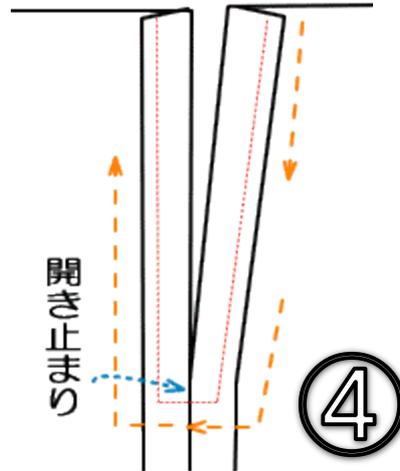
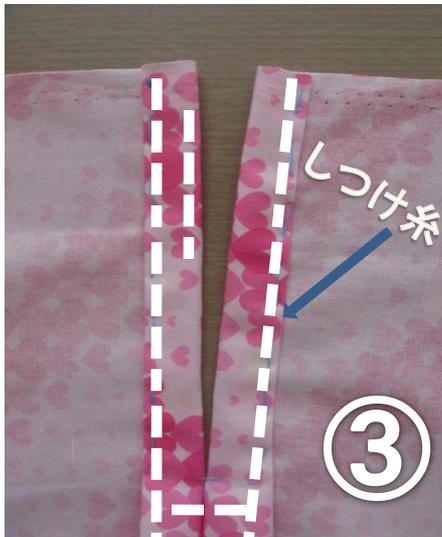


・印をつけた線の上を縫う。その時に線の上を「しつけ糸をつかい仮縫い」をすると布がずれずに楽にミシンで縫えます。

・わき縫いは下(わ)から型紙の赤い印(3cm)までを縫います。

・「縫い始め」と「縫い終わり」は、ほつれないように『返し縫い』をして下さい。

4 両脇の開きの部分を縫う

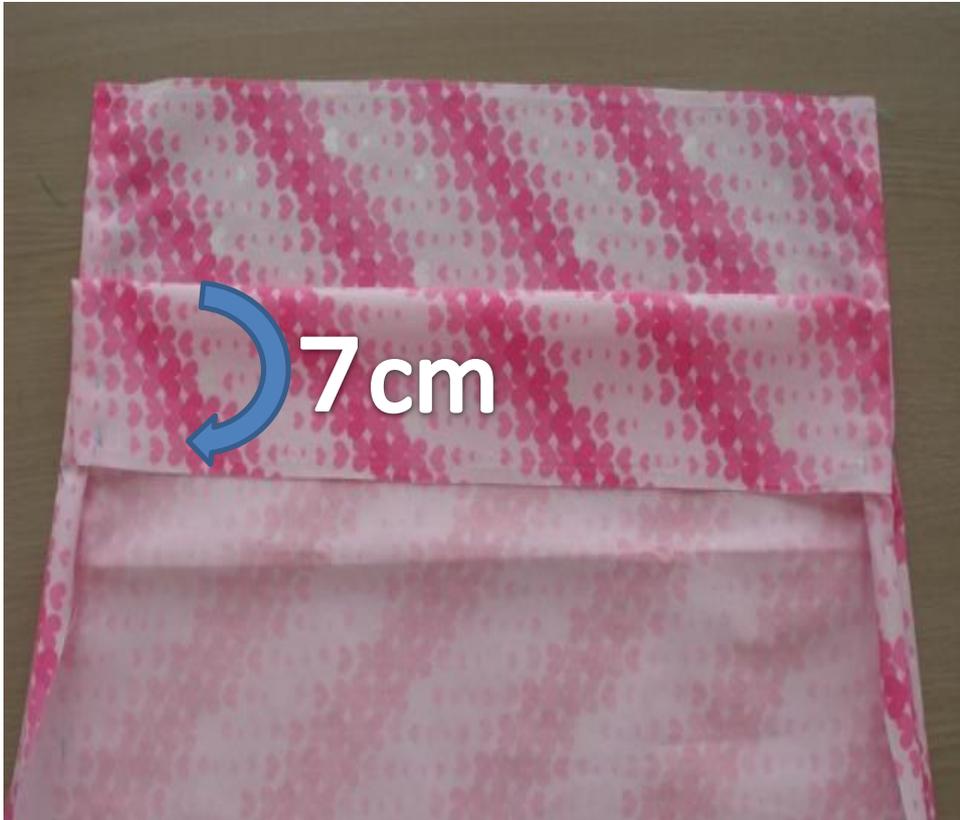


・布の上部両脇，開きの部分を三つ折りにします。
(写真①と②)

・三つ折りにしたら「しつけ糸」で仮縫いをして，布をおさえます。
(写真③)

・しつけ糸で仮縫いをした箇所をミシンを使い本縫いします。(返し縫をして下さい)
(写真④縫う順序)

5 袋の口(紐通しの部分)を縫う①



- ・袋口の縫いしろを手前に7cm折りにして、ひもを通す部分を作ります。
アイロンでしっかり折り目をつけると縫いやすいです。

5 袋の口(紐通しの部分)を縫う②



- ・袋口をしっかり折り目をつけたあと、まち針で布を抑え、しつけ糸で仮縫いをしておくとミシン縫いがしやすいです。



5 袋の口(紐通しの部分)を縫う③



- ・折り目をつけたところ(←左画像の赤点線の位置)を縫います。ひもを通す幅が狭くならないように気をつけて下さい。
- ・縫いしろから落ちないようにゆっくりミシンを進めて下さい。返し縫いを忘れないで下さい。

6 袋に紐を通す



できあがり

